

# 日本科学者会議広島支部緊急!!例会

歌う憲法学者・本秀紀(もと・ひでのり)名古屋  
大学教授の講演とギター弾き語りの集い

## 「安保関連法案」の内容 と問題点ー戦後70年の夏に、 この国のかたちを考えるー



※本 秀紀(もと・ひでのり)先生

名古屋大学大学院法学研究科教授(憲法学)

著書・編著書に

『現代政党国家の危機と再生』(日本評論社、1996年)

『グローバル安保体制が動き出す』(共著)(日本評論社、1998年)

『市民的公共圏形成の可能性』(共著)(日本評論社、2003年)

『現代憲法における安全』(共著)(日本評論社、2009年)

『政治的公共圏の憲法理論』(日本評論社、2012年)

『ケースブック憲法[第4版]』(共編著)(弘文堂、2013年)

『憲法講義』(編著)(日本評論社、2015年)など

2015年8月3日(月) 15:15~17:15 **入場無料。教職員、  
学生、市民大歓迎!**

**広島大学東広島キャンパス 学士会館会議室1**

**講師プロフィール:** 民主政の憲法理論を追究するとともに、憲法のところを実現するために、愛知憲法会議事務局長・あいち九条の会事務局次長など、さまざまな社会的活動に取り組んでいる。「歌う憲法学者」と呼ばれ、ギターの弾き語り付きで憲法講演を行うことも多い。

現在の市民を置き去りにした安保法制をめぐる政府・国会の動きに強い懸念を抱き、憲法研究者による<全国出前講師団>を結成。<https://antianpo.wordpress.com/>

7月11日に全国憲法研究会(憲法学者500人から構成)が東京で開催した緊急公開シンポジウム「憲法から『安保法制』を考える」のパネリストの1人としても登壇した、安保法制や現在の憲法運動の状況を最もよく知る憲法学者のおひとり。

問い合わせ先: 広島大学院総合科学研究科・市川 浩 TEL082-424-6397